

甲府西高 2年次だより



修学旅行特集第4弾:焼失した首里城に寄せて

10月31日、出勤前にちらっと見たテレビの画面にくぎ付けとなりました。画面に映し出されるのは業火に包まれる首里城正殿、まさかの事態にしばしその場を動かすことが出来ませんでした。正殿といえば、昨年11月に2年に及ぶ外観の塗装作業を終えたばかりとのこと(2年前の修学旅行で訪れたときは正殿前に足場が組まれていました)。もうあの朱色に輝く美しい姿を見ることが出来ないのかと思うと残念でなりません。そこで今回は首里城の再建を願い、その魅力について語らせてもらいたいと思います。

首里城は、沖縄を450年間にわたって統治していた琉球王国の中心をなす城郭で、2000年には日本で11番目の世界遺産にも認定されていました。首里城は、中国と日本両方の特徴が取り入れられた独自の建築様式で築かれています。そのことがよく分かるのが、首里城の象徴とも言える建物の正殿でした。正殿は中国の紫禁城をモデルに建てられたといわれ、きらびやかな彩色や龍の文様などからは中国の強い影響がうかがえる一方で、正殿の正面は本土の城でも見られる日本らしい装飾の唐破豊(唐破風)で飾られていました。また、正殿右側の南殿が白木づくりで日本風の建築様式なのは、薩摩の役人を接待し日本式の儀式をする場で、左側の北殿が中国風の様式なのは、中国の使者・冊封使をもてなす建物のためだったそうです。中国と日本という2つの大国の間でありながらも、長らく栄えた琉球王国の歴史を垣間見ることが出来る貴重な文化財でした。今回の火災でこれらの全てが灰燼に帰してしまいました。しかし、首里城は過去に4度も火災で焼失しながら、その都度再建されてきたそうです。きっと今回も再建されるものと期待しています。ただし、再建にあたっては、建築資材や技術の面、あるいは資金面などクリアしなければならない課題が山積のようです。これらの問題を解決しつつ、またあの美しい姿を1日も早く目の当たりに出来ることを祈りたいと思います。



保護者のみなさまへ

修学旅行に向けて...いよいよ修学旅行が目前に迫って参りました。先日の年次集会において最終の全体での事前指導を行いました。すでにお配りしました「修学旅行のお知らせ」と「修学旅行のしおり」を再度御確認の上、最終準備を進めていただきたいと思います。特に、持ち物の準備や当日の送迎などについてはよく確認をお願いいたします。なお、修学旅行中の生徒の様子は、西高のホームページにアップします。安心・安全で有意義な旅となるよう、職員一同、最善を尽くしてまいります。

修学旅行が終われば...一年後の受験に向けて本格的な準備を始める時期に入ります。これまでの学習をよりステップアップさせ、受験を意識した学習に切り替えるとともに、自分の志望する大学についての情報収集も行わなければなりません。特に2年次生は新入試1期生という中で、先日の英語外部検定試験導入の延期のように情報が日々更新されていきます。また、新テストを各大学がどう扱うかについても今まで以上にまちまちな対応になっていきます。定期的に各大学のHPを確認し最新の動向をつかむよう心掛けてください。

【12月の予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	日		17	火	A
2	月	B きずなの日、登校時指導、フードバンク	18	水	B
3	火	B 登校時指導、フードバンク	19	木	A
4	水	B 登校時指導	20	金	A 総合的な学習の時間講演会(4.5校時)
5	木	B	21	土	土曜講座、フードバンクのついでに会場準備
6	金	B 原付バイク免許取得者集会	22	日	フードバンクのついでに会場
7	土	修学旅行結団式	23	月	B きずなの日
8	日		24	火	行 休業前集会、報告会、大掃除、音楽発表会
9	月	修学旅行	25	水	冬季休業開始
10	火	修学旅行	26	木	
11	水	修学旅行	27	金	
12	木	修学旅行	28	土	
13	金	修学旅行代休	29	日	校内完全閉鎖(～1/3)
14	土		30	月	
15	日		31	火	
16	月	A			

【先生方からの寄稿】

今月は3組の担任・副担任の先生方です。

大学入学共通テストに英語民間試験導入 賛成だった?? 反対だった?? 3組担任 中島 勲

1カ月前、ちょうどID登録の申請用紙も提出し終わった後で、「英語民間試験導入見送り」の発表がありました。大雪の影響で山梨県の交通網が寸断された2014年にはすでに、有識者の先生たちと英語教員の間で「センター試験英語は廃止される」「民間試験で代替」「加点制、見なし満点制」というキーワードを下に議論が交わされていました。ようやく四技能のバランスやスピーキングにもフォーカスがされてきた今日、私としては「英語民間試験導入見送り」は残念でなりません。大学入試が変われば英語の授業も変わる。変えなくてはならないという必然性が生じ、英語によるコミュニケーションを重視した英語教育が一層加速したことでしょう。しかし、令和6年度入試まで延期とは、かなり先に見送られた感があります。過熱してきた四技能育成について、トーンダウンです。

さて、皆さんは、見送りになったことをどのように思いましたか？見送りと聞いて、少しホッとしましたか？残念でしたか？あるいは、どちらでも自分には影響はないと思いましたが？皆さんにとっては、ただでさえ新入試、大学入学共通テストに名称が変わるわけで、精神的負担が減り良かったのではと思います。GTECや英検を受けて練習したことは、英語学習のモチベーションとなり、その過程において皆さんの英語力は着実に前進しています。

しかし一方で、英語四技能の育成は本当に必要か？話すこと重視は、読むことや書くことを軽視することに繋がるのでは？という見方もあります。Society 5.0が実現されるこれからの時代、翻訳アプリが益々活躍し、オンラインの授業動画があれば外国語学習も十分可能です。スピーキングテストで試されるような能力を高める必要はあるのでしょうか？翻訳アプリはその名の通り、翻訳してくれるに過ぎません。労働人口の減少もあり、face to faceなコミュニケーションによって様々な国籍の人とコミュニティを作ったり、交渉をしながら仕事をしたりするには、やはり相手の表情を見ながら、時には手を取り合って進めていくことが不可欠です。そのためにIB(国際バカロレア)10の学習者像にもあるCommunicatorを目指し、読んだことについて、自分の考えや意見を伝えたり、書いたり、また相手の言っていることを聞いたりする技能や、即興でやり取りができることが必要となります。

皆さんならきっとできます。将来を見据えて、翻訳アプリに頼らずともきちんと英語で意思疎通ができるようになるでしょう。普段の授業や英検やGTEC等の資格取得に向けた学習によって、四技能をバランス良く伸ばすよう、一層学習に励んでほしいと思います。

越山先生のこと、漢詩のこと

3組副担任 望月 孝志

原文	書き下し文
悼越山老師 磊落豪雄飲且遊 桜桃日本讚名流 奔跑草地朝槿愴 完畢徒遺橄欖球	越山老師を悼(いた)む 磊落(らいらく)豪雄(ごうゆう)飲み且(か)つ遊ぶ 桜桃日本名流と讚(たた)えらる 草地を奔跑(ほんほう)す 朝槿(ちょうきん)は愴(かな)し 完畢(かんひつ)して徒(た)だ遺(のこ)る橄欖球(かんらんきゅう)
現代語訳	
強くておおらか、よく飲みよく遊んだなあ チェリーブラッサム・ジャパンの代表として名選手と称えられたよ フィールドを駆け巡ったその姿 槿(むくげ)のような儂い命はただ悲しいばかりだ 人生のノーサイドのホイッスルが鳴り 遺されているのはただひとつのラグビーボール	

日本中が(にわかファンも含めて)ラグビーワールドカップに熱狂したが、その3ヶ月ほど前、往年の名選手がこの世を旅立った。甲府工業の体育教師、越山昌彦先生である。体調がよろしくないとの噂は聞いていたが、それでもあまりの若い、58歳の命だった。

先生とは同い年、同期の採用で若い頃吉田高校と一緒に仕事をしていたのでとても切ない思いで知らせを聞いた。豪快でおおらかな人だった。ラグビー日本代表は「チェリーブラッサム・ジャパン」と呼ばれるが、越山先生も日の丸を背に戦ったひとりだ。そのキャップ数は9つ。名選手だった。伝統的な漢詩の世界に「ラグビーフィールド」という言葉はないが、この詩では「草地」を芝生の広場の意味で使った。「朝槿」、朝には咲いて夕べにはしぼむ槿の花ははかないもの、はかない命にたとえられる。完畢はノーサイドの意。彼の人生にもノーサイドのホイッスルが鳴ったのだなあと悲しみを新たにした。橄欖とはオリーブのこと。ラグビーボールが楕円形のオリーブの実に似ていることから中国人は橄欖球と名付けたのだろう。

七言絶句で、押韻は「遊、流、球」。漢詩には平仄という発音上の区別、意味の切れ方、禁止事項など複雑な決まりがある。俳句や短歌みたいにつぶやくようには作れない。それでもこの詩は一晚で仕上がった。強い衝動がそうさせたのだろうか。(もっともその後推敲は幾たびもしたが。)

漢詩は難しい。それだけに仕上がった時の感慨、達成感は一入だ。そして改めて気づいたのだが、普段口では言えない素直な感情が詩にすると抵抗なく表現できる。人智を超えた力が韻文にはあるようだ。

ジャパンのキャップを取っていた時、越山先生は甲府西高に勤務していた。人気者だったろう。